

千葉商科大学 プレスリリース

千葉商科大学ウェブメディア「MIRAI Times」で連載スタート!

消費者行動研究者が考察。 「断捨離」「ミニマリスト」新しい消費のカタチ

千葉商科大学(学長:原科幸彦)は、「社会の未来を育てる」をコンセプトとしたウェブメディア「MIRAI Times」に、「時代を映す 新しい消費のカタチ～「ボランティア・シンプルシティ」と「エシカル消費」～」と題した連載記事(全5回)の第1弾を公開しました。

世の中で大量消費が繰り返されるなか、断捨離やミニマリスト、エシカルライフといった言葉が身近になり、人々のモノに対する向き合い方に変化が起こっています。今回から始まるこの連載では、消費者行動研究が専門の千葉商科大学商経学部の大平修司教授が、学術的な知見を交えながら、今注目される2つの消費スタイルについて考察します。地球の持続的発展が叫ばれる現代において、「消費」と「サステナビリティ」、そして「幸福感」を両立するためのヒントを探ります。

【連載第1弾】【Style1:持たずに暮らす】ボランティア・シンプルシティ(=ミニマリズム)とは何か

連載第1弾では、「ボランティア・シンプルシティ(自発的簡素)」(=ミニマリズム)の研究の歴史を85年前まで遡る。学術的な経緯を見ると、ボランティア・シンプルシティは1冊の訳書となって海外から日本へ伝わり、研究が深まった。しかし大平教授は、「日本で続いているミニマリズムブームの背景には日本で古くから続いてきた質素儉約という文化がある」と分析する。

モノを持たない暮らしについて、昔と今の違いについて考えるほか、「こんまり」のヒットに見る海外の消費に対する意識変化についても記事では解説している。

※記事本文をぜひご覧ください。

https://www.cuc.ac.jp/om_miraitimes/special/u0h4tu0000002ad3.html

「MIRAI Times」では、SDGs 推進に力を入れる本学が、持続可能な社会の未来を育てるために、知りたいこと、知っておいた方がいいことを分かりやすく伝えていきます。

「MIRAI Times」 https://www.cuc.ac.jp/om_miraitimes/

千葉商科大学 MIRAI Times

検索

【報道関係者の皆様へ】

「MIRAI Times」の記事テーマに関する教員や学生へのご取材についてはお気軽にお問い合わせください。

学校法人千葉学園 経営企画部 戦略広報室 [Tel] 047-373-9968 [E-mail] p-info@cuc.ac.jp

千葉商科大学では、建学の理念に基づく本学の事業活動において、SDGs への取り組み方針を学内外に共有・公表することにより、社会的責任を果たす際の指針とすることを目的に「千葉商科大学SDGs 行動憲章」を策定しています。

CUC 千葉商科大学
Chiba University of Commerce

www.cuc.ac.jp